

第35回ふる里山田同郷の会

旧友との思い出出話に花を咲かせる

東京近郊に暮らす本町出身者などが集い、交流を深め合う「ふる里山田同郷の会」が6月16日、東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島)を会場に開かれました。今年で35回目となる同会には約200人が出席。始めに総会が行われ、本年度の事業計画や収支予算などを審議しました。総会終了後には、「懇親の集い」が行われ、参加者は旧友との再会に沸き、懐かしいひとときに花を咲かせていました。



昆暉雄町議会議長の乾杯の音頭



懐かしい思い出話にお酒が進みます

総会に先立ち町からは、「山田町の近況報告」が行われ、加藤水産商工課長が山田小学校新校舎の建設工事の完成や新しい道の駅やまだ(愛称・おいすた)の運営状況、今年4月に県の無形民族文化財に指定された山田八幡宮と大杉神社の神幸行事などを説明し、参加者は古里の近況に耳を傾けていました。

総会では、令和5年度の事業報告や監査報告、本年度の事業計画などが審議され、全て原案のとおり承認されました。総会終了後の「懇親の集い」では、村上進



参加者へインタビュー

毎年楽しみにしています



さだいち
沼崎貞市さん
〔境田町出身〕

第1回から参加しています。年に1回の貴重な機会なので毎年楽しみにしています。今回は、久しぶりに虎舞を見ることができうれしかったです。祭りばやしを聞いていると、様々な思い出がよみがえってきます。来年も山田の状況を知るためにも参加したいです。

同窓会気分になれます



えいこ
矢藤栄子さん
〔関口出身〕

高校卒業後、預金金融会社に就職しました。20歳の時に転勤してから、東京で生活しています。ふる里会には同級生と一緒に参加していて、同窓会気分に参加できるこの会は恒例行事の一つです。なかなか山田に帰れないので、販売している山田の幸が東京で味わえるのも魅力の一つですね。

虎舞が懐かしいですね



けいいち
山崎啓一さん
〔織笠出身〕

山田を語り合えるこの会が楽しくて、毎回参加しています。上京して50年以上経ちましたが、お祭りは山田が一番ですね。特に虎舞が好きなので、久しぶりに見ることができ、懐かしい気持ちになりました。これからも発展し進んでいく山田町を応援しています。



村上会長から佐藤町長に目録が手渡されました



本町特産品の物販販売が行われました

会長が「第35回ふる里山田同郷の会にご参加いただきありがとうございます。会員の皆さまには、物価高騰の厳しい状況の中、古里山田町のことを思う大勢の方々に出席いただき感謝します。本日は時間の許す限りご歓談いただき、明日からのエネルギーに変えていただければ幸いです」とあいさつ。そして、同会から山田町育英会(佐藤信逸会長)へ寄付金10万円の贈呈が行われ、村上会長から会長の佐藤町長に目録が手渡されました。

その後、昆暉雄町議会議長の乾杯の音頭で幕が開け、参加者

らは古里を懐かしみながら思い出話に花を咲かせていました。アトラクションでは、演歌歌手の恋川いろはさんによる演歌や山田境田虎舞保存会の皆さんによる演舞が披露され、場内は大いに盛り上がりました。また、

物産販売や特産品が当たる抽選会も行われ、参加者らは古里の品々に満足気な様子でした。4時間という限られた時間でしたが、参加した皆さんは旧友との交流を楽しみ、来年の再会を誓い合い会場を後にしました。

